

平成22年度決算の概要

市の財政は、皆さんに納めていただいた市税のほか、国や都からの補助金などの収入から成り立っています。そして、そのお金は、福祉、教育、まちづくりなど、皆さんの暮らしに深いかかわりを持つさまざまな分野に使われています。

そこで、どのようなお金が入ってきて何に使われているのかなどをお知らせするため、財政状況を公表しています。

今回お知らせするのは、平成22年度の一般会計と7つの特別会計の決算、市の財産、借入金などの概要です。

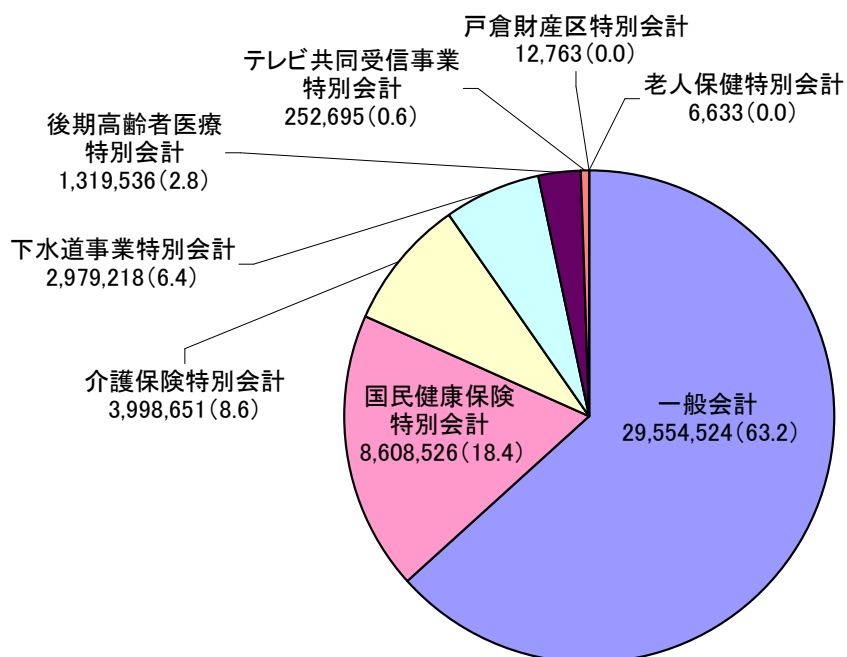
< 各会計の決算状況 >

(単位：円)

区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	収入率	歳 出 決 算 額	執行率
一 般 会 計	29,898,486,000	29,554,524,008	98.8%	28,972,123,025	96.9%
特 別 会 計	16,956,733,000	17,178,022,431	101.3%	16,610,584,636	98.0%
国民健康保険	8,338,431,000	8,608,525,609	103.2%	8,227,147,254	98.7%
老 人 保 健	10,659,000	6,633,465	62.2%	6,633,465	62.2%
後期高齢者医療	1,320,886,000	1,319,536,150	99.9%	1,263,406,559	95.6%
介 護 保 険	4,015,248,000	3,998,650,423	99.6%	3,938,164,556	98.1%
戸 倉 財 産 区	13,362,000	12,763,406	95.5%	9,698,731	72.6%
下 水 道 事 業	2,948,841,000	2,979,218,408	101.0%	2,920,707,365	99.0%
テ レ ビ 共 同 受 信 事 業	309,306,000	252,694,970	81.7%	244,826,706	79.2%
合 計	46,855,219,000	46,732,546,439	99.7%	45,582,707,661	97.3%

一般・特別会計決算(歳入)総額:46,732,546千円

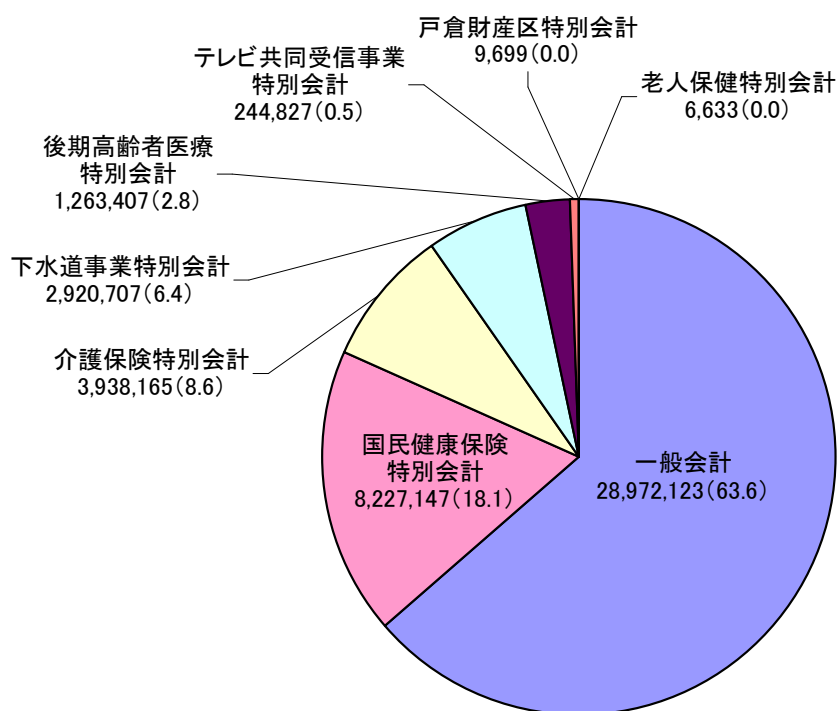
(単位:千円、%)



< 凡例 >
項目
金額(構成比)

一般・特別会計決算(歳出)総額:45,582,708千円

(単位:千円、%)



< 凡例 >
項目
金額(構成比)

＜一般会計の決算状況＞

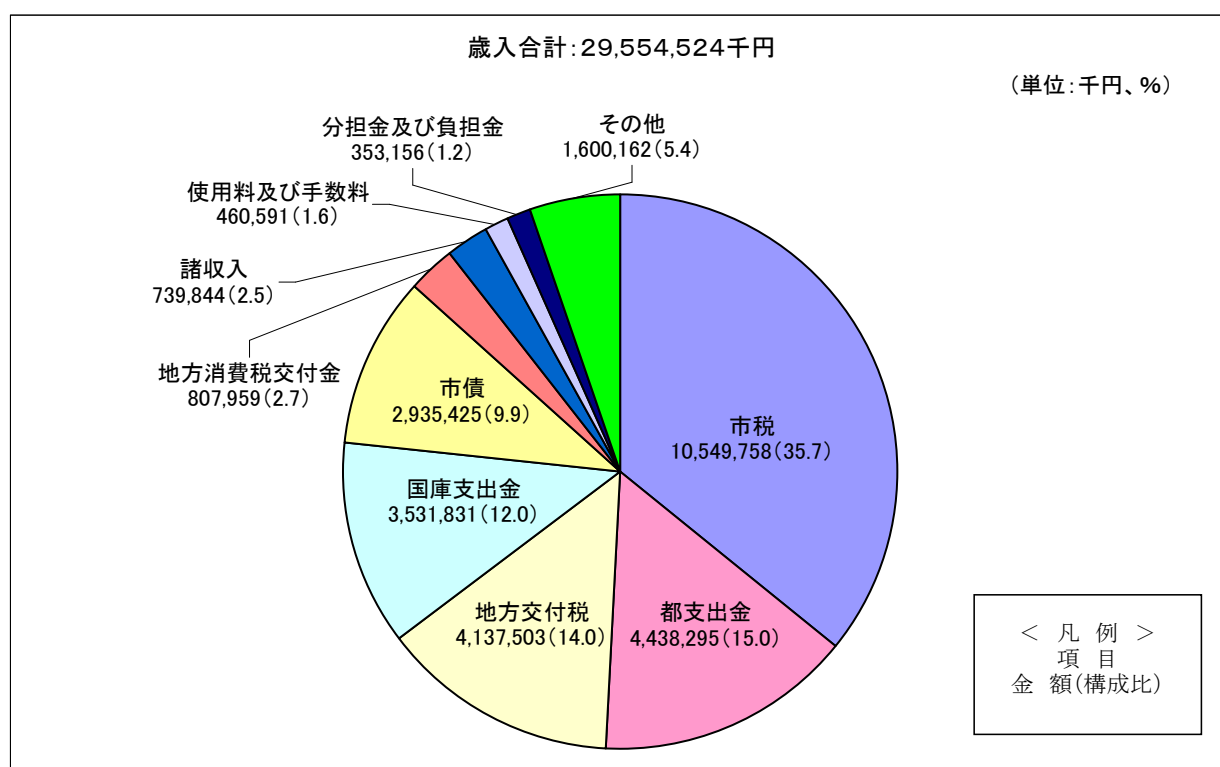
一般会計の予算額は、当初予算後に6回の補正を行った結果、前年度からの繰越額を含めて、298億9,848万6,000円となりました。

決算額は、歳入が、295億5,452万4,008円（収入率98.8パーセント）、歳出が、289億7,212万3,025円（執行率96.9パーセント）となり、差引き5億8,240万983円を平成23年度へ繰越しました。

歳 入

（単位：円）

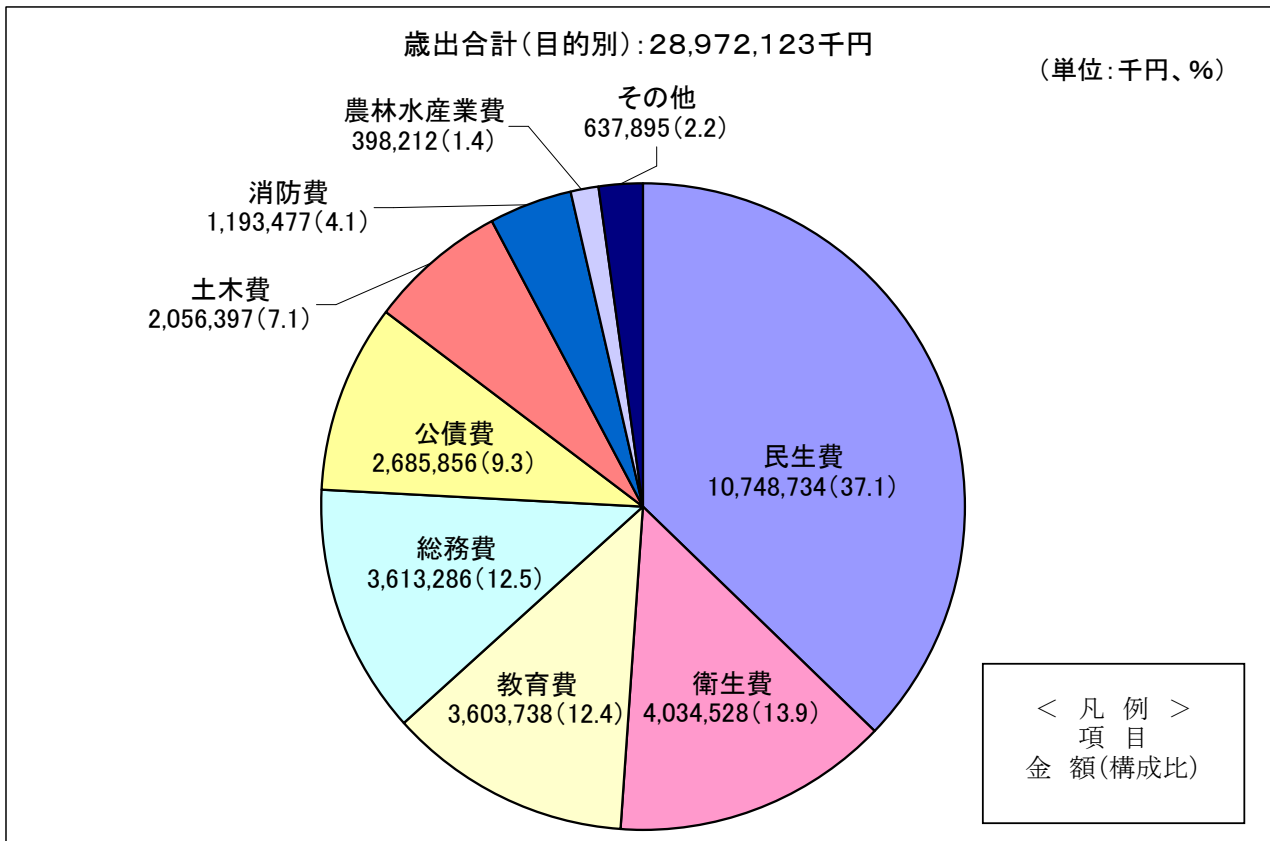
区 分	予 算 額	決 算 額	構 成 比	収 入 率
市 税	10,494,383,000	10,549,758,265	35.7%	100.5%
都 支 出 金	4,678,926,000	4,438,294,726	15.0%	94.9%
地 方 交 付 税	4,073,394,000	4,137,503,000	14.0%	101.6%
国 庫 支 出 金	3,570,275,000	3,531,831,498	12.0%	98.9%
市 債	3,047,325,000	2,935,425,000	9.9%	96.3%
地方消費税交付金	824,068,000	807,959,000	2.7%	98.0%
諸 収 入	777,906,000	739,844,097	2.5%	95.1%
使用料及び手数料	468,577,000	460,590,714	1.6%	98.3%
分担金及び負担金	367,947,000	353,155,683	1.2%	96.0%
そ の 他	1,595,685,000	1,600,162,025	5.4%	100.3%
合 計	29,898,486,000	29,554,524,008	100.0%	98.8%



歳出（目的別）

（単位：円）

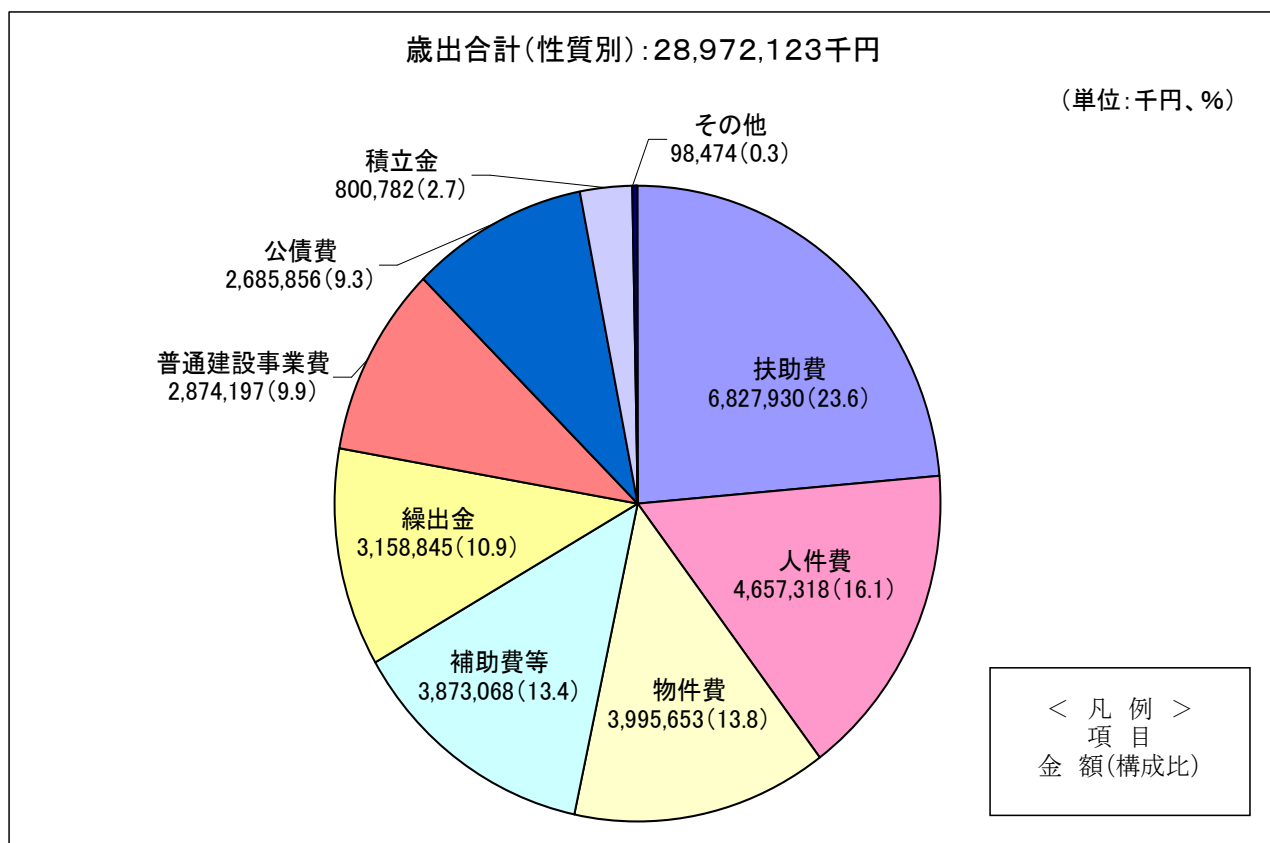
区分	予算額	決算額	構成比	執行率
民生費	10,995,211,000	10,748,734,275	37.1%	97.8%
衛生費	4,114,933,000	4,034,528,322	13.9%	98.0%
教育費	3,794,466,000	3,603,737,858	12.4%	95.0%
総務費	3,709,345,000	3,613,285,986	12.5%	97.4%
公債費	2,692,846,000	2,685,855,843	9.3%	99.7%
土木費	2,188,611,000	2,056,397,156	7.1%	94.0%
消防費	1,226,704,000	1,193,477,001	4.1%	97.3%
農林水産業費	458,538,000	398,211,858	1.4%	86.8%
その他	717,832,000	637,894,726	2.2%	88.9%
合計	29,898,486,000	28,972,123,025	100.0%	96.9%



歳 出 (性質別)

(単位：千円)

区 分	決 算 額	構 成 比
扶 助 費	6,827,930	23.6%
人 件 費	4,657,318	16.1%
物 件 費	3,995,653	13.8%
補 助 費 等	3,873,068	13.4%
繰 出 金	3,158,845	10.9%
普通建設事業費	2,874,197	9.9%
公 債 費	2,685,856	9.3%
積 立 金	800,782	2.7%
そ の 他	98,474	0.3%
合 計	28,972,123	100.0%

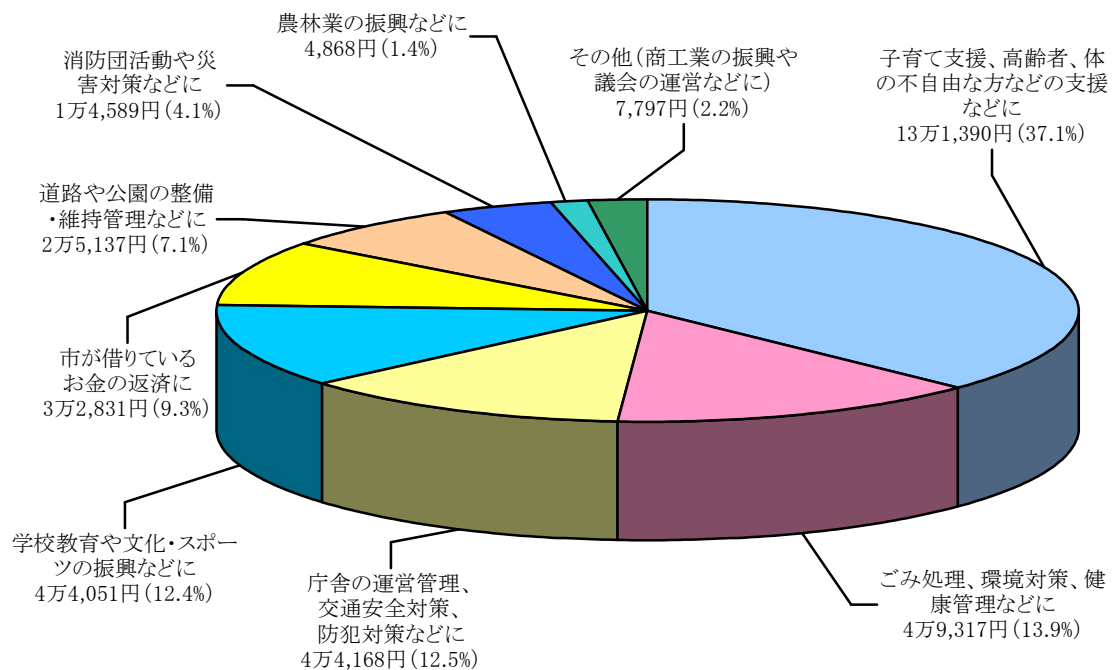


＜市民1人当たり・1世帯当りに使われたお金＞

【一般会計歳出決算額】 289億7,212万3,025円	
【1人当たりに使われたお金】 35万4,148円	【1世帯当たりに使われたお金】 87万1,106円
【総人口】 8万1,808人	【総世帯】 3万3,259世帯

※総人口・総世帯は平成23年3月31日現在

＜市民1人当たりに使われたお金（35万4,148円）の使いみち＞



＜市有財産の状況＞

- ・ 土地面積（学校敷地など） 592万9,550㎡
- ・ 建物面積（庁舎など） 19万1,974㎡
- ・ 自動車保有台数（消防車両29台を含む） 93台
- ・ 出資金などの現在高 1億306万5,000円

＜基金の状況＞

基金とは、今後の支出に備えて特定の目的ごとに積み立てている資金です。平成22年度末現在の基金の現在高は、18基金で、27億107万8,266円となっています。

基金名称	基金の現在高
財政調整基金	774,900,000円
テレビ共同受信施設整備基金	766,411,827円
国民健康保険基金	315,379,277円
公共施設整備基金	210,624,000円
介護給付費準備基金	166,844,522円
戸倉財産区基金	131,766,000円
ふるさとの緑地保全基金	115,944,000円
小峰工業団地地形形成基金	53,932,000円
郷土の恵みの森づくり事業基金	34,384,000円
市営住宅整備基金	33,337,000円
羅災救助基金	28,037,000円
育英資金貸付基金	22,972,821円
介護従事者処遇改善臨時特例基金	20,171,819円
健康づくり応援基金	8,796,000円
観光振興基金	6,289,000円
社会福祉基金	5,524,000円
国民健康保険高額療養費資金貸付基金	5,000,000円
減債基金	765,000円
合 計	2,701,078,266円

※平成22年度末現在の基金の現在高は、平成22年度出納整理期間（平成23年4月1日から同年5月31日まで）の終了後の現在高を記載しています。

＜市債の状況＞

道路、公園、学校などの公共施設の整備には、一度に多くのお金が必要となるため、国や都の同意を得て、国、都、銀行などからお金を借ります。これを市債といいます。

市債の活用により、これから利用される世代の方々にも負担していただくことで、世代間の負担の公平を図っています。

下表のとおり、市債は前年から約5,000万円増加しているものの、一部事務組合の借入金などで当市が将来的に負担すべき額は前年から約15億9,000万円減少しており、これらを合わせると平成21年度から約15億4,000万円減少しています。

市債の目的		市債の現在高	
一般会計	普通債	教育債（学校や図書館などの整備のために）	4,842,078,295 円
		衛生債（保健センターなどの整備のために）	3,226,411,754 円
		土木債（道路などの整備のために）	2,614,770,686 円
		総務債（庁舎建設などのために）	2,460,038,261 円
		商工債（観光施設などの整備のために）	1,553,472,022 円
		民生債（児童館などの整備のために）	148,165,043 円
		消防債（消防施設の整備のために）	127,358,639 円
	その他	臨時財政対策債 ^{※1} （財源確保のために）	8,587,057,754 円
		減税補てん債 ^{※2} など（財源確保のために）	2,545,366,598 円
計		26,104,719,052 円	
下水道事業特別会計（下水道の整備のために）		25,742,297,769 円	
合 計 ①		51,847,016,821 円	
平成21年度末残高 ②		51,795,484,456 円	
差 し 引 き ①－②		51,532,365 円	

※1 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

※2 減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

（参考）一部事務組合の借入金などで、当市が将来的に負担すべき額

区 分		現 在 高
一部事務組合	阿 伎 留 病 院 組 合	5,155,692,924 円
	西 秋 川 衛 生 組 合	266,116,760 円
	秋 川 流 域 斎 場 組 合	304,856,928 円
	秋 川 衛 生 組 合	0 円
あきる野市土地開発公社（簿価残高）		4,317,971,635 円
合 計 ①		10,044,638,247 円
平成21年度末残高 ②		11,640,286,008 円
差 し 引 き ①－②		△1,595,647,761 円

<特別会計の状況>

[国民健康保険特別会計]

主な収入済額は、国民健康保険税、国、都の支出金、社会保険診療報酬支払基金からの交付金と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、保険給付費で、全体の67.2パーセントを占めています。

[老人保健特別会計]

主な収入済額は、社会保険診療報酬支払基金からの交付金と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は医療費と国、都への償還金です。

[後期高齢者医療特別会計]

主な収入済額は、後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、広域連合納付金で、全体の92.0パーセントを占めています。

[介護保険特別会計]

主な収入済額は、65歳以上の方からの保険料、社会保険診療報酬支払基金からの交付金(40歳以上64歳以下の方からの保険料)、保険給付費に対する国、都からの負担金と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、居宅介護サービス費や施設介護サービス費などの保険給付費で、全体の93.0パーセントを占めています。

[戸倉財産区特別会計]

主な収入済額は、会館使用料と繰越金です。主な支出済額は、森林の保育管理経費です。

[下水道事業特別会計]

主な収入済額は、国や都からの補助金、市債、使用料と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、公共下水道の污水管布設工事費、維持管理費と市債の償還金です。

平成22年度の公共下水道事業として、污水管を約1,604メートル布設しました。整備面積は5ヘクタールで、認可変更により追加された整備済面積21ヘクタールを含め、累計で1,310ヘクタールとなりました。

[テレビ共同受信事業特別会計]

主な収入済額は、加入者分担金と施設整備基金繰入金です。主な支出済額は、受信施設整備事業費及び施設整備基金積立金です。